

普及やいそ

第157号
発行
八重山農林水産振興センター
農業改良普及課
沖縄県石垣市真栄里438-1
TEL 0980-82-3497 Fax 82-4142
与那国駐在
TEL 080-8579-7516

八重山から 青年農業士 女性農業士 認定!



9月9日に那覇市で令和4年度沖縄県農業士等認定式が開催され、八重山地区から青年農業士3名、女性農業士1名が認定されました。



農業関係組織に数多く在籍し、後輩への指導等を行っている。また、農業以外においても幅広く活動を行い、地域のリーダーとして若者の育成に尽力している。

東内原 航太氏 (石垣市白保:野菜、さとうきび)



所属する大半の組織において役員を務めリーダーシップを発揮している。また、地域の学校への体験学習および講師を引き受け、農村青少年の食育活動に貢献している。

大久 勇真氏 (竹富町小浜:さとうきび)



家畜人工授精師、牛削蹄師の資格を有し、地域の新規就農者や後輩農家へ指導助言を行うなど地域の中核的担い手として活躍している。

黒島 亨太氏 (竹富町小浜:肉用牛繁殖)

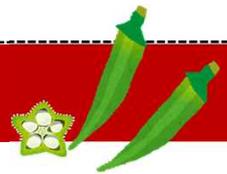


島外より講師を招きバーンミーティングを開催するなど精力的に活動を行っており、石垣島和牛改良組合女性部を牽引し、畜産業における女性の活躍に資している。

大道 美津子氏 (石垣市白保:肉用牛繁殖)

(担当:舞木)

オクラの立ち枯れ対策



石垣市は温暖な気候を活かしたオクラの栽培が盛んで、H18年に拠点産地に認定されています。しかし近年は立ち枯れの被害が拡大し、市場に求められる早出しが減少傾向にあります。立ち枯れには4種類の病原菌が関与しており、菌種ごとに効果のある農薬が異なりますが、症状による区別が難しく、複数の菌が混在する畑も多いため、防除が難しい状況です。



苗立枯病(R)



立枯病



疫病

＜耕種的防除の徹底＞

特に低温期に播種する作型では、以下のような耕種的防除が必須です。圃場の選定や準備は、早めに行いましょう。また農薬は数種類を組み合わせて使用しましょう。

- ①連作を避ける
- ②十分に耕起・碎土する
(速やかに根を伸ばす)
- ③マルチ等による地温の確保
(20℃以上)
- ④高畦・深耕等による排水対策
- ⑤ネット・ソルゴー等による
季節風対策 (地際部の保護)

表1 石垣市のオクラ圃場から分離された病原菌種 (H28、A~Qは農家名)

病名	菌種	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	合計
苗立枯病	リゾクトニア菌	●	●			●			●										5
	ピシウム菌													●	●				2
立枯病	フザリウム菌			●	●		●	●						●		●	●		8
疫病	フィトフトラ菌			●						●	●	●	●						5

表2 オクラの立ち枯れを引き起こす病原菌種と防除農薬

農薬名	苗立枯病		立枯病	疫病
	リゾクトニア菌	ピシウム菌	フザリウム菌	フィトフトラ菌
ユニフォーム粒剤	●	●		●
タチガレン液剤		●	▲	
リゾレックス水和剤	●			
オーソサイド水和剤	●	●	▲	▲

●：登録農薬 ▲：同時防除により一定の効果が期待できる農薬

＜土壌消毒剤の利用＞

クロルピクリン錠剤の施用
(1袋/1aを畦面に均等に配置
→ロータリで混和→穴なしマルチ
で速やかに被覆→2~3週間
後にマルチに穴を開け播種)も
高い効果が見られています。



＜苗移植による発病抑制＞

育苗培土を用いて苗を作り、圃場によっては植穴にも培土を詰めて(根鉢保護)移植することにより、立ち枯れの被害を大幅に軽減できることが確認されています。

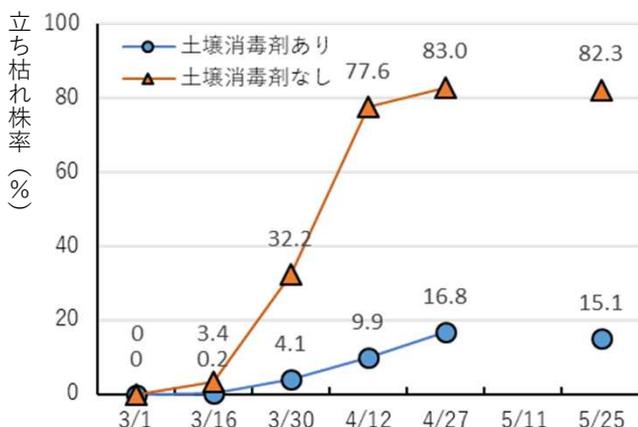


図1 土壌消毒による立ち枯れの軽減 (R3展示圃)

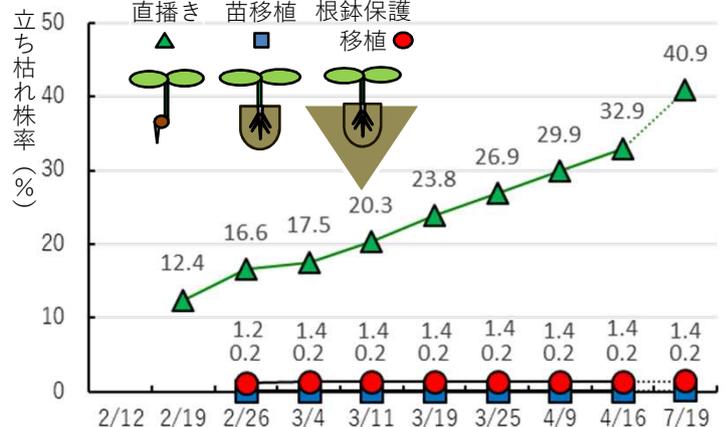


図2 苗移植による立ち枯れの抑制 (R2展示圃)

(担当: 山口綾子)

牧草栽培も基本は土づくりから！

八重山地域の牧草地は「永年草地」とも呼ばれ、年中牧草が栽培されています。しかし、1度造成された草地は更新されず、土壌の経年劣化、牧草の収量と栄養価の低下が懸念されています。

作物の栽培において土づくりは欠かせません。それは牧草も同じです。草地更新を行い、堆肥を土壌にすき込むなど土壌環境の改善を行っていきましょう。昨今の世界情勢に伴って、飼料・肥料価格は高騰しています。本地域は牧草栽培に適した気候であり、牧草をよりいっそう自給できるように適切な草地管理を心がけましょう。

表1は、令和4年度に草地更新とともに堆肥施用を行った草地の土壌成分を更新前の令和3年度と比較したものです。更新によって土壌養分が少ない下層部も耕起されたことで成分値は一般的に低下しますが、加里・リン・腐植が上昇しました。これは堆肥施用によるものと考えられ、土壌改良に一定の効果を示しました。

表1 土壌成分一覧

	pH	EC	石灰	苦土	加里	リン	腐植
令和3年度	6.80	0.26	1850	42.3	1.22	8.14	2.14
令和4年度	5.50	0.08	48.6	23.9	47.3	19.1	2.36

八重山地域の牛が各地で活躍！

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会が10月に開催され、第2区若雌の1において黒島の「しもじ51」(下地太)が沖縄県勢過去最高順位となる優等4席を獲得しました。同大会は5年に1度開かれる和牛のオリンピックともいわれ、竹富町から初めての出品で4席を獲得する快挙となりました。

9月には八重山郡畜産共進会が3年ぶりに八重山家畜市場で開催されました。審査は3部門(若雌1類・若雌2類・高等登録群)に分かれて行われました。それぞれの部門で上位2席を獲得した牛は11月の沖縄県畜産共進会に出品され、若雌2類において「ゆりこ」(幸和畜産)が優等1席と県知事賞、若雌1類において「たつこ」(下地太)が優等4席を獲得しました。



写真1 しもじ51(下地太)
全国和牛能力共進会鹿児島大会
若雌の1優等4席



写真2 ゆりこ(幸和畜産)
沖縄県畜産共進会
若雌2類優等1席・県知事賞



写真3 たつこ(下地太)
沖縄県畜産共進会
若雌1類優等4席

(担当:長坂 龍志郎)

今から始める果実品質向上への取り組み(マンゴー)

● 果実病害対策

✓ 剪定残渣の除去 ✓ 敷き藁等による被覆

炭疽病、軸腐病などの病原菌はハウス内の残渣上で長期間生存しており、翌年の感染源となります。剪定残渣を敷き草代わりに用いずワラ、キビ葉ガラ等の資材を用いましょう。また、炭疽病の病原菌は頂芽の形成期には既に感染していることがわかっているので、早めに感染源(残渣)を除去しましょう。



✓この頃には既に感染している。



✓ 感染源となる剪定残渣は除去する。



✓ 残渣で被覆せずにワラ等で被覆する。



マンゴー果実病害の発生生態と防除技術(沖縄)



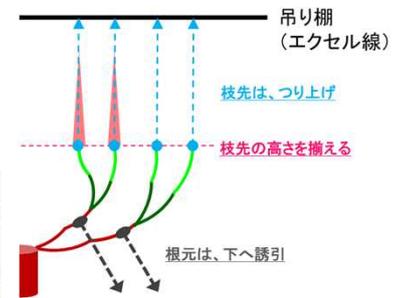
マンゴー炭疽病の発生と栽培管理の関係(宮崎)

↑こちらをチェック↑

● 着色不良対策

✓ 出蕾前からの枝先吊り

最終節が充実したら、主枝・垂主枝の下方方向への誘引と同時に、枝先を一定の高さで吊り上げ、花芽の出芽に備えましょう。枝先吊りによって、**出蕾初期から**、花序に光が当たり着色向上が期待できます。

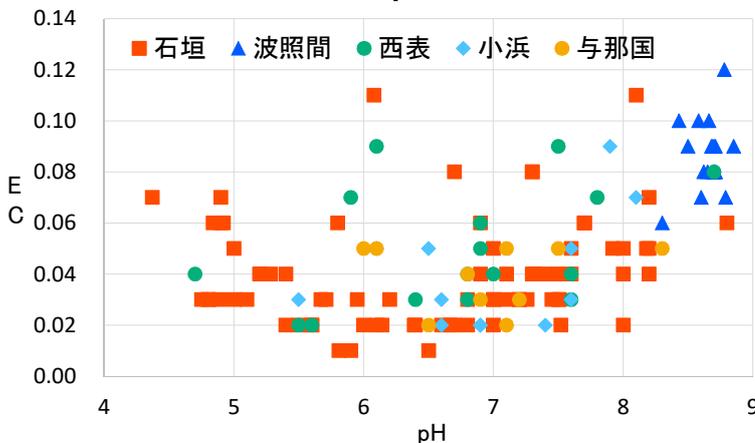


(担当: 中村 翼)

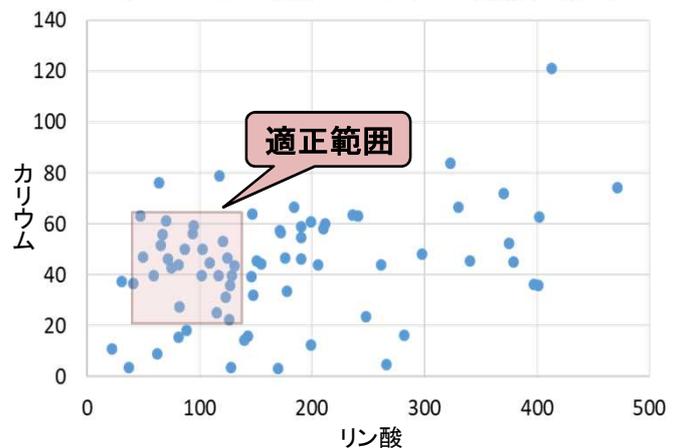
令和4年度土壌検診週間における土壌分析結果について

7月4日～15日の土壌検診週間における分析点数は、八重山地区で合計606点(石垣市486点、竹富町106点、与那国町14点)、作物別では、さとうきび141点、野菜198点、果樹219点、水稻32点、牧草13点、かんしょ3点でした。

さとうきびの pH と EC の分布



ゴーヤーのリン酸/カリウム残存量分布



さとうきびほ場のpHは波照間島では8～9に集中しているのに対し、他の島は酸性からアルカリ性まで多様な土壌が分布しています。自身の圃場特性を理解し、それぞれの土壌に応じた改良を行いましょう。また、施設栽培のゴーヤーでは、リン酸過剰の傾向が見られます。このような圃場では、リン酸分の少ない肥料を選択するような施肥設計を行いましょう。

(担当: 恩田・内嶺)